



祐介の目

No.148

大田祐介（福山市議会議員）

方針転換以来、県は本
当に良くやってくれ
たと感じている。安心
安全な住み良いまち
づくりが進む一方、鞆
の人口は毎年100
人減少している。現在
の鞆の主産業は観光
だが、住民には観光客

鞆のまちづくり

湯崎知事が埋立て架橋計画から山側トンネルに方針転換した際の説明会に私も参加したが、殺気立った会場に怒号が飛び交った。その後11年が経過し、当初の県と市と住民間の混乱も収まり、県は鞆未
来トンネルに着工し、東西の
交流拠点整備、新たな棧橋の
設置、平漁港内の埋め立て、起
伏式ゲートによる高潮対策等
様々な新たなまちづくりを進
め、県事業費は190億円に
上る。例えば東側交流拠点に
車を停めて渡船に乗り、鞆港
まで送るといふ船を使った
パーク・アンド・ライドは日
本初ではないか。私もシーカ
ヤックで何度も鞆港を出入り
したが、水面近くから観る鞆
の街並みは素晴らしい。
私は鞆・高島・水呑学区に
声をかけ「鞆の浦駅伝」を計
10回開催して鞆周辺住民の融
和を図ってきた。住民はもち
ろん、県、市からも毎回多く
のチームが参加してくれた。

アレルギーがある。しかし、観
光無くして雇用は生まれな
いし、よそ者・若者・馬鹿者が
鞆に来ることもないだろう。
この解決策は石見銀山や白川
郷等に学ぶべきだ。できれば
観光客が落とした果実が観光
業以外の住民に還流するよう
な仕組み（観光税等）ができ
ればと思う。

私は自ら修復した元遊廓・
ありそ楼を拠点に「着物日和」
というイベントを毎年開催し
てきた。大正ロマン風の着物
を多数所有する尾道でござ座
の協力により参加者に着物を
選んでもらい、着付けをして
町を散策してもらおう。鞆の住
民からも観光客からも褒めて
もらい、本人たちも大満足で
一日を過ごすことができた。
このような滞在型観光が定着
して、鞆の街並みをゆつくり
歩いて回るようになれば観光
客アレルギーも随分減るので
はないか。私は16年前に埋立
架橋計画に反対票を投じた。
以来、鞆の住民の力になれ
ばと努力してきたつもりだ。